

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【公表番号】特表2013-516369(P2013-516369A)

【公表日】平成25年5月13日(2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2012-548138(P2012-548138)

【国際特許分類】

*B 6 5 D 51/16 (2006.01)*

【F I】

*B 6 5 D 51/16*

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月13日(2013.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

キャップで密封可能な容器開口部用の取外し可能な通気カバーであって、前記容器開口部の縁の上に載る、所定の寸法および形状を有する非通気性の外側部分と、

前記容器開口部の内部表面に広がる非通気性の内側部分と、

少なくとも1つの非通気性の中間部分であって、前記外側部分と前記内側部分とをブリッジし、前記容器の内部に突出するように形作られ、前記容器開口部から前記取外し可能なカバーが滑り落ちないように前記容器の縁の内側の縁に近位した位置に配置されている中間部分と、

前記外側部分の外側の縁から、前記少なくとも1つの中間部分によって形成された外側の周囲まで亘っている、前記外側部分を介した少なくとも1つの通気性のギャップとを備える、取外し可能な通気カバー。

【請求項2】

前記非通気性の外側部分の形状は円形、矩形または長円である、請求項1に記載のカバー。

【請求項3】

前記少なくとも1つの通気性のギャップは、前記少なくとも1つの非通気性の中間部分の外側の縁に当接する、請求項1に記載のカバー。

【請求項4】

前記少なくとも1つの通気性のギャップは方形であるか、または形状が湾曲している、請求項1に記載のカバー。

【請求項5】

前記少なくとも1つの非通気性の中間部分はVの形状またはドーム形状である、請求項1に記載のカバー。

【請求項6】

前記少なくとも1つの通気性のギャップは前記非通気性の内側部分に亘っている、請求項1に記載のカバー。

【請求項7】

取外し可能な通気性ディスクによってカバーされた、キャップで密封可能な容器開口部

から気体を排出するための方法であって、

前記容器開口部の縁の上に載る、所定の寸法および形状を有する、前記取外し可能な通気性ディスクの非通気性の外側部分を形成することと、

前記容器開口部の内部表面に広がる前記取外し可能な通気性ディスクの非通気性の内側部分を形成することと、

前記取外し可能な通気性ディスクの少なくとも1つの非通気性の中間部分であって、前記外側部分と前記内側部分とをブリッジし、前記容器の内部に突出するように形作られ、前記容器開口部から前記取外し可能なカバーが滑り落ちないようにしてあり、前記容器の縁の内側の縁に近位した位置に配置されている中間部分を形成することと、

前記外側部分の外側の縁から、前記少なくとも1つの中間部分によって形成された外側の周囲まで亘っている、前記取外し可能なディスクの前記外側部分に、少なくとも1つの通気性のギャップを形成することと

を含んでなる、方法。